

保護者 様

令和6年度 学校評価（保護者・児童）の集計結果のお知らせ

新居浜市立中萩小学校
校長 加藤 三香子

仲春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、1月末には教育活動についてのアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。保護者の皆様からご回答いただいたアンケートと児童の生活アンケート結果、及び教職員の自己評価を基に、中萩校区学校運営協議会による学校評価を行いました。結果を報告いたしますとともに、皆様からいただいたご意見を次年度の取組に生かし、更により良い教育活動、教育実践となるよう改善を図っていきたいと考えております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

新居浜市立中萩小学校

Ⅰ 児童アンケートの結果と分析・改善策

中萩小学校 自己評価（児童アンケート）								
令和7年1月								
評価方法 ア:大体できている イ:できている ウ:あまりできていない エ:できていない それぞれの回答数を百分率で示した。アとイの百分率の合計を肯定的評価としている。								
(単位%)								
No.	項目	ア	イ	ウ	エ	合計	R6 ア+イ	R5 ア+イ
1	学校に行くのが楽しい	53	28	13	6	100	81	82
2	学校の勉強が楽しくよく分かる	40	38	17	5	100	78	81
3	タブレット(iPad)を利用した授業は、楽しくよく分かる	67	25	6	2	100	92	91
4	友達を大切にし、仲良くしている	75	20	3	2	100	95	94
5	お家や地域であいさつや返事ができている	57	30	10	3	100	87	89
6	読書をしている	40	28	21	11	100	68	71
7	そうじやお手伝いをしている	47	33	14	6	100	80	80
8	けがをしないように安全に気を付けている	64	25	7	4	100	89	89
9	周りの人は、がんばったことをほめてくれる	52	30	12	6	100	82	82
10	周りの人は、話を聞いてくれる	54	32	10	4	100	86	88
11	家庭学習の習かんが身に付いている	42	37	15	6	100	79	78
12	早ね、早起きができている	41	29	18	12	100	70	73
13	家族と学校のことをよく話す	56	22	15	7	100	78	81
14	地域の行事に参加することは楽しい	55	26	14	5	100	81	77

<児童アンケートについて>

- ・ 昨年度とほぼ同じ傾向である。学校行事や地域の行事等工夫しながら実施し、楽しさを感じる機会が増えてきた。
- ・ 「友達を大切にし、仲良くしている」「お家や地域であいさつや返事ができている」「周りの人は、話を聞いてくれる」の評価は例年どおり高い。周囲との関わりを大切にしながら、思いやりの気持ちを持って学校生活を送ることができている。
- ・ 「学校の勉強が楽しくよく分かる」の評価がやや低下している。基礎・基本を大切に丁寧な指導を積み重ねていきたい。
- ・ 「読書をしている」の評価がやや低下している。より本に親しむために読書の時間の確保や取組方の工夫などを行い、根気強く指導を続けていきたい。
- ・ 「学校に行くのが楽しい」と感じていない児童が19%いることを全教職員がしっかり認識し、一人一人を大切にしたい関わりができるように努めたい。

2 保護者アンケートの結果と分析・改善策

中萩小学校 自己評価(保護者アンケート)							令和7年1月	
評価方法 ア:大体できている イ:できている ウ:あまりできていない エ:できていない それぞれの回答数を百分率で示した。アとイの百分率の合計を肯定的評価としている。 (単位%)								
No.	項目	ア	イ	ウ	エ	合計	R6 ア+イ	R5 ア+イ
1	楽しく学校に通うことができますか	60	36	4	0	100	96	96
2	学校で学習したことを身に付けることができますか	29	60	10	1	100	89	88
3	学校は、楽しくよく分かる授業ができていますか	33	58	8	1	100	91	94
4	学校は、ICT(電子黒板やタブレット)を活用した授業ができていますか。	48	47	4	1	100	95	98
5	友達を大切にし、仲良く生活できていますか	57	41	2	0	100	98	97
6	家庭や地域で、挨拶や返事ができていますか	31	55	13	1	100	86	87
7	読書をよくしていますか	18	29	39	14	100	47	47
8	掃除や手伝いをしていますか	19	36	39	6	100	55	56
9	学校は、環境整備に努め、安全・安心な学校づくりができていますか	30	64	5	1	100	94	95
10	学校は、お子さんを大切にし、その良さを認める関わり方ができていますか	39	54	6	1	100	93	96
11	学校は、家庭からの相談に適切に応じることができていますか	47	47	5	1	100	94	97
12	家庭学習の習慣を身に付けることができますか	25	53	20	2	100	78	79
13	早寝・早起き・朝ご飯などの生活習慣を身に付けることができますか	38	49	10	3	100	83	85
14	学校と家庭と地域が一体となって、子どもたちの教育を行うことができますか	21	66	10	3	100	87	89

<保護者アンケートについて>

- ・ 昨年度とほぼ同じ傾向であり、肯定的な評価が85%以上の項目が多い。
- ・ ICT活用に関する評価が昨年に続き高くなっている。日常的に電子黒板が利用されるようになっており、授業をはじめ持ち帰り等様々な場面でのタブレット活用も進んでいる。協働学習アプリの活用も進んでいる。
- ・ 「読書をよくしていますか。」の項目は、今年度も評価が低い。今後更に、『家読』^{うちどく}の啓発や学年便り等での啓発に努めていきたい。

- ・ 学校における学習や生活を通して基本的生活習慣を定着させ、「掃除や手伝い」「家庭学習の習慣」「早寝・早起き・朝ご飯」などについて啓発に努めたい。
- ・ 通学路の危険な場所については、引き続き教育委員会や警察署等関係機関、学校運営協議会等と連携しながら、改善に努めていきたい。校内の修繕の必要な箇所については、教育委員会と連携しながら対応し、児童の安全確保に努めていきたい。昨年度は中校舎のトイレ、今年度は北校舎のトイレの全面改修を行った。
- ・ 週末や長期休暇の宿題の量や内容、タブレットの持ち帰りの進め方等については、児童の発達段階を踏まえ、検討していきたい。

3 中萩校区運営協議会における委員の意見

<児童の様子について>

- ・ 項目3ではタブレットを使っでの授業に慣れてきていることがうかがえる。
- ・ 項目4では思いやりの気持ちを持つ児童が多くいるのがうれしい。
- ・ 誰に対しても思いやりの気持ちをもって学校生活を送ってほしい。また、できる限り地域の行事に参加し、楽しんでほしい。
- ・ 項目12では、早寝、早起きができていなければ、体調面に影響があるように思われる。
- ・ タブレット、スマートフォンの時代、読書する時間があっても、そちらの方へ気持ちが行き、読書離れになっていくのだろうか。タブレットで問題に答えることもあるようだが、これまでの学習の在り方も大切だと感じる。
- ・ 登下校では挨拶はよくできていると思う。しかし、下校中、旧道で車が来ているのに2列になっていて危ないという話を聞いている。注意喚起をお願いしたい。
- ・ 低学年の登下校時の荷物の多さを感じる。改善をお願いしたい。

<保護者の評価について>

- ・ 楽しく学校に通っているのはとても良い。
- ・ 学校からの細やかな連絡に感謝されている家庭が多いようで、すばらしいことだと思う。
- ・ 通学路の危険な場所については、引き続き教育委員会や警察署等、関係機関と連携するので、校区内の危険な場所など、図面にて提示してもらえれば、どうすればよいか検討する。
- ・ 項目7、8は極端に低い数字ではあるが、学校の取組に加え、保護者が手本を見せながら教えることも必要である。
- ・ 児童数が多く、ご意見も多くあるが、学校サイドだけでできない意見も多くある。
- ・ 項目6、8、12、13の評価が下がっている。家庭学習も含めて、基本的生活習慣の定着のために、いろいろな機会を通じて保護者への啓発をお願いしたい。
- ・ 義務教育時期に知識を深めるためにも、復習、予習などの自主勉強が大切だと思う。
- ・ 家での手伝いは何か責任を持ってさせ、できた時には大いに褒めて感謝の言葉を掛けることが大切だと思う。
- ・ 宿題の量についてのご意見もあったが、中学校には「宿題が少ない」とのご意見

があった。子どもそれぞれに適した宿題の量があるので、宿題の出し方を検討していく必要性を感じる。

<教職員の取組について>

- ・ 挨拶や返事は今後も大切にしていかなければならないことだと思う。
- ・ 明るく、楽しい学校生活が送れるための指導を願いたい。挨拶や返事の指導も重ねてお願いしたい。
- ・ 教師は児童にとって大きな存在である。保護者アンケート等からは先生方は日々児童へ適切に対応しているが、いじめや事故等が起これば先生方の努力も水の泡である。更なる児童への関わりを再点検していただきたい。
- ・ 前年度の比較では、評価の下がった項目もあるが、全体的に高評価であり、先生方の日頃の指導はとても充実していると思われる。家庭学習の習慣や生活習慣の定着は学校だけでは難しい。どのように保護者に啓発していくかが課題である。
- ・ 読書指導については、紙ベースで文章を読むことが少なくなっているのも、時代の流れを感じる場所である。しかし、映像や画像ではなく、文字や行間から読み取る力、想像する力を育てることの大切さをすごく感じる。先生方が好きな本について語る時間や読み聞かせなど、本に親しむきっかけを作ってくだされればと思う。

<学校への提言>

- ・ 思いやりがあり、明るく元気な子ども、挨拶がよくでき、言葉遣いが良く、自律性のある子の育成をお願いしたい。
- ・ 教職員の皆さんは、日々児童のことを考え、また、地域との関わりも考えながら取り組んでいる姿勢がこのアンケートにてうかがえ、感謝している。
- ・ 保護者の意見の中には、辛口の意見もあるようだが、学校だけではできない課題もあるので、地域も含めて検討し、より良い中萩小学校にしていきたい。
- ・ 学校と家庭と地域が一体となって進めるコミュニティスクールは、児童にとっても学校にとっても地域にとっても利点が多いので、連携を取りながら更なる努力を重ねていきたい。
- ・ 児童、保護者、教職員へのアンケートの結果で最低評価は三者とも「読書」に関する項目であった。小学校入学前に読み聞かせを「週に4日以上」受けた子どもは「週1日未満」の子どもに比べて、その後の読書時間も1.5から2倍長くなる傾向があり、また、早い段階で読書習慣を身に付けた子どもは、その後も長い時間読書をする傾向があるようだ。低学年ほど、本に触れる時間を多くとることが必要だと思う。ICTを利用した電子図書の導入も必要になってくるのかもしれない。
- ・ 保護者のご意見中に一部批判的なものもあるようだが、多くの保護者は学校の丁寧な対応に好感を持っているように感じる。小中で連携しながら、保護者が同じ方向を向いて子どもの育成に努めていただけるように働き掛けていただきたい。